（別紙4（2））

事業所名 グループホーム岩倉一期一会荘

目標達成計画

作成日： 平成30年10月7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	利用者のその人らしさ(個別ケア)の感じられる内容を盛り込み、手の届く具体的な短期目標にして、利用者・家族・職員が達成感を味わえる介護計画の作成を引き続き実施していく。	ご本人様がより良く暮らせるような介護計画書となるよう、個別ケアを具体的に記載していく。また、ご本人様だけでなく、ご家族様の意向も記載していく。職員のスキルアップを図る。	「望む生活」「目標」「具体的援助内容」をそれぞれで見ても、誰の介護計画書なのかが分かるような、具体的で生活に寄り添った内容にしていく。ご本人様の言葉で記載出来るかぎり記載し、計画内容の実現に努めていく。	12ヶ月
2	4	ホームの目標達成計画を議題として取り上げ、進捗状況を報告するとともに、意見・提案を募ってホームの改善につなげる事を引き続き実施していく。	理念を展開したグループホームの目標を掲げ、職員が同じ方向で仕事が出来るようになる。その進捗状況を運営推進会議で報告する。	理念を展開したグループホームの目標を掲げ、職員が同じ方向で仕事が出来るように、共有し実践をしていく。また進捗状況を運営推進会議で報告し意見・提案を募って改善をしていく。	12ヶ月
3	10				ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。